

# 東海医学会講演会のご案内

演題：移植（GVHD）の病理

演者：伊藤 雅文 先生

名古屋第一赤十字病院病理部・副院長、病理部長

司会：中村 直哉（基盤診療学系 病理診断学）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

造血細胞移植は、自然界に存在しないキメラを作る医療である。造血の移植であるが免疫も移植され、その副作用である GVHD は、アロ免疫反応によるアポトーシスを基盤とする組織変性から生じる病態である。キメラ状態の免疫は、生体にどのような反応を生じるかを病理組織像から読み解く。NIH ガイドラインでは治療介入の観点から、活動度評価と鑑別診断に重点が置かれている。皮膚、腸管、肝臓の病理所見を中心に、病変の免疫背景と鑑別のポイントについて解説する。

2020年12月18日（金）

17：00～18：00

1号館2階 講堂B